

石川県志賀町の増穂浦海岸にある「世界一長いベンチ」です。全長は 460.9m に及び、1987 年に地域住民やボランティアの手によって完成しました。さらに 1989 年には、1,346 人が同時に着席した記録がギネスブックに掲載され、一躍全国的に知られる存在となりました。日本海に向かって一直線に延びるベンチは、訪れる人が思い思いの場所に腰掛け、潮風を感じながらゆったりとした時間を過ごせるよう造られています。その長さは写真だけでは実感しにくいものの、実際に歩いてみると、果てしなく続いているような印象を受けます。

この写真では、ベンチが海岸線に沿って遠方まで伸び、白い柵や遊歩道とともに美しい遠近感を生み出しています。穏やかな日本海は深い青からエメラルドグリーンへと色を変え、夏の澄み切った空と見事なコントラストを描いています。対岸には緑豊かな海岸林が続き、その向こうには風力発電の風車も点在しており、能登らしい自然と再生可能エネルギーが調和した景観を見ることができます。また、この海岸は可憐なサクラガイが多く打ち上がることで知られ、散策しながら淡い桃色の貝殻を探す「貝拾い」の名所としても親しまれています。

2024 年の能登半島地震では志賀町も大きな被害を受けましたが、この世界一長いベンチは能登を代表する観光名所として、復興を象徴する存在の一つでもあります。ベンチに腰掛けて水平線を眺めていると、時間の流れがゆっくりになったように感じられ、海風や潮の香り、寄せては返す波の音が心を穏やかにしてくれます。夕暮れには日本海へ沈む美しい夕日を眺める絶好の場所としても知られ、世界一長いベンチを歩きながらサクラガイを探すひとときは、能登の豊かな自然と穏やかな時間を満喫できる、この地ならではの魅力にあふれています。

(2026 年 8 月上旬／石川県志賀町)

